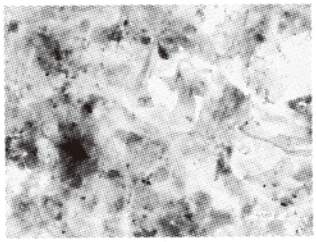
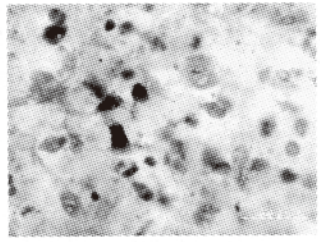
肌の美白に有用性

サンペンズエキス　メラノソームの輸送阻害

コーセー―東北大学

コーセーと東北大学は15日、保湿成分のサンペンズエキスが肌の美白に有用性があることを発見したと発表した。肌のシミ要因となるメラニン色素含有小胞であるメラノソームの輸送を阻害し、表皮細胞へ色素が移行・蓄積することを抑える機能を見いだした。肌のシミ生成を防ぐことができると見込み、来年発売予定の最高級ブランドの美白訴求スキンケアに応用していく。





メラニン含有皮膚モデルでの実験結果（右がサンペンズエキス添加、左は無添加）

両者は、メラニン色素生成細胞内でメラノソームが細胞核から細胞膜に向かって輸送される過程にかかわる「RAB27A」や「SLP－2A」などの特有たん白質4種に着目。同エキスを細胞内に添加したところ、SLAC2－AやSLP－2Aなど、RAB27Aを除く3種の量が半分近くまで低減されることを確認した。また、メラニン色素を含有した3次元皮膚モデルへの添加実験でも、蓄積された同色素量が半減していることもわかった。

これまで化粧品業界におけるメラニン色素生成抑制関連の研究では、メラニン合成酵素であるチロシナーゼの活性阻害や表皮細胞内の同色素量制御などにアプローチするものが多かった。これらの既存アプローチと今回の新知見を併用することで、肌へのシミ生成抑制機能がより向上することが見込められるという。

同社は、これまでにサンペンズエキスを化粧品専門店向けブランド「プレディア」などのスキンケアに保湿成分として用いてきたが、今回の知見で肌のシミ生成抑制など美白にも有用なことを見いだせたことから、来年2月に最高級ブランド「コスメデコルテ」から発売予定のスキンケア製品に応用する。コウジ酸と一緒に配合している。